カシオ科学振興財団研究協賛事業

「障害等による機能低下、体型変化等に配慮した衣服の開発と普及のための基盤整備」

ファッションの インクルーシブデザイン シンポジウム 会場ヤウェブ

2024年11月9日 = 13:05-16:45

インクルーシブデザインとは、年齢、性別、障害の有無、文化 的背景などに拘らず、あらゆる人が利用できるデザインを目指 す手法です。ファッションにおいては、誰もが快適に着用でき る服を一緒に考えることです。このシンポジウムでは、ファッショ ンにおけるインクルーシブデザインの現状と課題について議論 し、解決策を模索します。専門家や研究者だけでなく、一般の 方々にも広く参加いただき、多様な視点から意見を交換するこ とで、より包括的なファッションの未来を共に考えます。



会場来場・ウェブの同時開催

【会場】日本橋プラザビル 9F ビジョンセンター東京八重洲 904 室

東京都中央区日本橋 2-3-4 -

果只都中央区日本橋 2-3-4 -

【ウェブ】Zoom ミーティング

─JR 各線

「東京駅 八重洲北口」 徒歩4分(八重洲地下街16番出口徒歩2分)

●東京メトロ 銀座線・東西線、都営地下鉄「日本橋駅(B3 出口)」 徒歩 1 分

参加費

無料:参加をご希望の方は事前登録をお願いいたします。どなたでもご参加いただけます。

申込方法

下記フォームより登録をお申込み下さい。 お申し込みが完了しますと、受付メールが自動送信されます。 申込フォーム https://forms.gle/z991bkV4YKVHXT8A7



申込フォーム QR コード

〆切・定員

申込〆切:10/28(月)

定員:会場参加(先着30名)/オンライン(先着200名)

◆お問合せ先: ☑ inclusive_fashion@googlegroups.com

【主催】ファッションのインクルーシブデザイン実行委員会

「障害等による機能低下、体型変化等に配慮した衣服の開発と普及のための基盤整備」研究班

プロジェクトの始まり

国リハコレクション(2011年から実施)の活動を継続するため、金城学院ファッション工房(2009年4月から実施) や他の関連団体と協働し、「障害等による機能低下や体型変化に配慮した衣服の開発と普及」をテーマに公益財団法 人カシオ科学振興財団に助成を申請し、助成(2024年1月~12月)を受け実施することが決定しました。今回のシン ポジウムが第1回目の公開イベントとして開催されます。企画メンバーは医療従事者や衣服関連の教育者、特別支援 |教育や医療専門職の教育者、障害者支援に関する研究者などからなり、高齢者や障害者と接触する機会のある専門 家で構成されています。

シンポジウムの趣旨

障害に配慮したおしゃれな衣服が手に入りにくい現状があり、多くの人が改善を目指し活動していますが、十分に広 <mark>ま</mark>っていない懸念があります。そこで、情報共有を促進し、衣服をより入手しやすくするために「みんなで一緒に考え る」をキャッチフレーズとしてシンポジウムを開催することとしました。

情報共有・提供のためのウェブサイト作成中

基盤整備のひとつとしてウェブサイトの作成中です。情報収集中で、まだ完成していません。多くの意見を参考にしな がら改善を続けたいと思っており、ご協力や支援をお願いしています。

プログラム

開会

司会

13:05-13:10

徳永千尋 日本医療科学大学 / 名誉教授 一般社団法人リハビリテーション教育評価機構

開会挨拶

平林由果 金城学院大学/教授 公益財団法人カシオ科学振興財団 研究代表者

第1部 …… ファッションを通じたインクルーシブ社会の実現のために~新しい価値創出の可能性を探る~

13:10-14:20 本シンポジウムの開催趣旨・ウェブ紹介と作成協力のお願い 小野栄一 国立障害者リハビリテーションセンター / 研究所顧問

【当事者・家族の立場から 困ったこと、工夫したこと、解決してほしい課題など】

視覚障害者の服装選び

山岸加奈子氏 トロンボーンソリスト 一般社団法人日本ケアメイク協会 / 理事長

多発性内軟骨腫症の紹介

富田公美氏

【企業の立場から 何故始めたか、どんな課題があるかなど】

実例紹介を通じて

中澤幸子氏 株式会社 SACHI/ 代表取締役

【研究者の立場から 何故始めたか、どんな課題があるかなど】

雙田珠己氏 元熊本大学教授

一休憩一

第2部 …… 誰でもおしゃれを〈取組の例〉

14:30-16:10

【公益法人・大学の取組】

共用品とおしゃれについて

星川安之氏 公益財団法人 共用品推進機構 / 専務理事

美容福祉と美齢学

大野淑子氏 山野美容芸術短期大学 / 客員教授

【人材育成の取組】

身体障害者のファッション教育の取組み

鈴木 綾氏 NPO 法人エスプリローブ / 代表理事

【企業の取組】

服のお直しサービス「キヤスク」の紹介

前田哲平氏 株式会社コワードローブ / 代表取締役

インクルーシブファッション「SOLIT!」の紹介 田中美咲氏 社会活動家・ソーシャルデザイナー

感覚過敏の課題解決アパレルブランドの事例紹介

加藤路瑛氏 感覚過敏研究所 / 所長

一休憩一

第3部 …… 情報交換会

16:20-16:45 閉会挨拶



謝辞:本シンポジウムはカシオ科学振興財団研究協賛事業の助成(障害等による機能低下、体型変化等に配慮した衣服の開発と普及の ための基盤整備:研究代表者:平林由果 金城学院大学)により実施します。